

おいしい・元気・たつの を目指して

- 健康づくりは朝ごはんから
- 地域の郷土料理の発展と普及
- 食事バランスガイドの普及
- 環境を意識した食生活

この度、食育推進委員として食育レポートを掲載するに当たり、市の担当5課が「食に関して」積極的に取り組まれている内容を聞いて感じたこと並びにその活動内容を紹介いたします。

今回は環境課の活動内容です。
食育推進会議委員 赤松光弘

生ごみの水切りの徹底を！

家庭から出される普通ごみ袋の中には、水分が多量に溜まって持ち上げるのが困難なものもあります。

また、昨年の夏休みに市内の小中学生がごみの体験学習をし、生ごみの水分割合を調べたところ、「生ごみの約85%は水分である」との結果報告がありました。

行政が年間に回収した普通ごみ約15万000トンの中の約30%は生ごみです。で、掛龍クリーンセンターでは年間に1

5,000t×0.3×0.85=3,825トンもの水を蒸発処理していることとなり、この量は龍野体育館温水プールの約11杯分にもなります。

水分が多くなると、クリーンセンターの溶融炉内の温度を上昇させるためのコークスの使用量が増加して処理経費が増額するとともに、地球環境にも悪影響を及ぼし、さらに炉の耐用年数の短縮原因ともなります。

掛龍クリーンセンターは約85億円の工事をかけ平成9年度から稼働しました。また、2年前に約9億円をかけた炉の延命化工事を実施しました。

今後は、次の点に留意し、お互いに生ごみの水分を低減しましょう。

- ① 不要な皮をむいてから洗い、余分な水分を吸わせない。
- ② 三角コーナーや水切りネットを振って水切りを行う。
- ③ 野菜の皮もなるべく調理して生ごみの量を減らす。
- ④ 水切りしやすいよう、水分の多いものは細かく切ってから水切りする。
- ⑤ 排水口の水切りネットの生ごみをこまめに取る。

生ごみの悪臭や腐敗の主な原因は、生ごみに含まれる水分です。水分をよく切ることにより、生ごみの悪臭や腐敗防止にも役立ちますので、よろしくお願ひします。

▼環境課 (☎64・3150)

EMボカシ肥製造グループを募集！

EM（有用微生物群）ボカシ肥は、糖蜜、EM、米ぬか、水等から作られ、生ごみの発酵を促進する働きがあります。

市では次の要領で年間を通じて安定的にEMボカシ肥を製造、供給していただける団体を募集します。

- 1 目的
 - (1) 生ごみの堆肥化を推進し資源循環型社会の構築を目指す。
 - (2) 生ごみの発酵促進に効果のあるEMボカシ肥について市民に普及啓発を図る。
 - (3) 生ごみの発酵により効果のあるEMボカシ肥の製造方法について調査研究する。
- 2 事業内容
 - (1) 生ごみの堆肥化により効果的なEMボカシ肥の調査研究を行いながら、生ごみ堆肥化活動団体等を対象にEMボカシ肥を安定的に供給していただきます。
 - (2) 材料は、10万円を限度に市が購入し、お渡しします。
 - (3) 製造したEMボカシ肥は、環境課又は環境課が指示する場所で受け渡しすることとなります。
 - (4) 支給物品の使用記録及びEMボカシ肥の製造量等の記録（様式任意）を環境課へ提出していただきます。
 - (5) 製造団体におけるEMボカシ肥の保管場所が不足する場合は環境課に御相談ください。
 - (6) 製造したEMボカシ肥を自団体の生ごみ堆肥化活動に使用することもできます。
- 3 事業期間

平成22年度
- 4 募集団体数

1団体
- 5 応募方法

複数団体からの応募があった場合は、申請書をもとに環境課で選考します。
- 6 応募条件
 - (1) 市内在住の5名以上から成る団体であること。
 - (2) 営利を目的とする団体でないこと。
 - (3) 過去に団体に製造したEMボカシ肥を使用して生ごみを堆肥化して効果があがった実績のあること。
 - (4) 月に20kg以上のEMボカシ肥の製造が可能であり、安定的に供給できること。
 - (5) 製造したEMボカシ肥を乾燥させ袋詰めできること。
 - (6) EMボカシ肥製造場所への見学者の受け入れが可能であること。
 - (7) 市内他団体からEMボカシ肥の製造について指導依頼があった場合、現地での指導が可能であること。
 - (8) 市の啓発イベントに出席が可能であること。
- 7 応募期限

5月25日(火) 環境課必着
- 8 問い合わせ先

環境課環境美化係 ☎64・3150 FAX63・2594
メール kankyo@city.tatsuno.lg.jp

生ごみ水切りモニターを募集！

- 1 目的

昨年夏休みに、「地域の力で・ごみメタボ対策事業」を実施し、小学生に地域の方々と一緒にごみステーションの立ち番やごみ出しのお手伝いをしていただき、感想やごみ減量化アイデアを募集したところ、ある小学生が自由研究でスイカの水切り実験を行い、約85%が水分だったとの結果が出ています。

一人あたりの生ごみ量を150g/日とし、この水を集めると、1年間で龍野体育館の25mプール約11杯にもなり、ただの水を処理していることとなります。

そこで、生ごみ減量化意識の高揚と水切りがごみ減量化への有効な手段であることを広く市民に啓発することを目的に、生ごみの水切りモニターを募集します。
- 2 応募資格
 - ・市内在住の方
 - ・支給物品を環境課まで取りに来れる方
 - ・モニター期間終了後も自主的に生ごみの水切りを実施していただける方
- 3 モニター期間

平成22年7月1日～12月28日
- 4 実施内容（取組内容）
 - (1) 以下の水切り方法から選んでいただき、水切りの実証実験を行っていただきます。
 - ①三角コーナー
 - ②水切りネット
 - ③水切りバケツ
 - ④その他水切り道具
 - ⑤新聞紙に包む
 - ⑥天日干し
 - ⑦ゴム手袋等を着用して手で絞る
 - ⑧温風乾燥
- 5 物品の支給

物品が必要な場合は、応募者の依頼に基づき市が概ね3,000円を限度に購入し現物を貸与し、モニター終了後に譲渡します。ただし、特定の商品をお希望の場合は、事前に環境課へ御相談ください。※支給物品は、環境課でお渡しいたします。
- 6 応募人数

30名程度
- 7 応募方法

環境課、各総合支所市民福祉課に備え付け又は市ホームページからダウンロードした応募用紙に必要事項を記入し、環境課へ提出してください。
(FAX及び電子メールでも応募を受け付けます)
※応募者多数の場合は抽選
- 8 応募期限

5月31日(月) 環境課必着
- 9 問い合わせ先

環境課環境美化係 ☎64・3150 FAX63・2594
メール kankyo@city.tatsuno.lg.jp

「革細工体験教室」を道の駅みつで開催

皮革のまち「たつの」を、より多くの方に知っていただくために、たつの市産「天然皮革」を用いた動物フィギュアの体験教室を開催します。

どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

◎とき 5月14日(金)・15日(土) 10時～16時

◎ところ 道の駅みつ・体験学習室

◎内容 干支などの動物フィギュア

◎参加費 1個 100円(200円程度)

▼商工観光課 (☎64・3150)



庁舎耐震改修工事完了に伴い事務所を移転

庁舎耐震改修工事の完了に伴い、次のとおり事務所を移転します。なお、直通電話番号は変更ありません。

○5月31日(月) 税務課、会計課：元の場所

○6月7日(月) 総務課、危機管理課、情報推進課、財政課、工事検査課：元の場所(庁舎2階)へ

▼総務課 (☎64・3142)